

# 沿川市町村から頂いたご意見

H20.11.21

信濃川水系河川整備計画 県・沿川市町村懇談会

## 信濃川水系河川整備計画 県・沿川市町村第1回懇談会意見

平成20年11月  
魚沼市

### 【魚沼市の意見】

#### 1 河川改修事業の促進

根小屋地区（魚野川右岸：芋川合流部）、四日町地区（魚野川左岸：小出駅裏）などの無堤防区間について、早期の改修を行っていただきたい。

#### 2 良好な河川空間の創出

四日町地区（魚野川左岸：小出駅裏）の改修に際しては、市が計画している「良好な河川空間確保」のための親水公園計画実現に向けた協力をお願いしたい。

#### 3 維持管理の強化

魚野川の支川から流入する堆積土砂（小出市街部）や雑木の密集（新柳生橋上流）の影響により洪水時の水位上昇が生じていることから、河川景観や動植物の生態に配慮をしたうえで、河道掘削及び通水阻害となる樹木の除去などを実施していただき、なお一層の維持管理の強化をお願いしたい。

平成20年11月21日

小千谷市

信濃川水系河川整備計画第1回県・沿線  
市町村懇談会開催に伴う意見・要望等

1. 災害の発生の防止又は軽減（洪水対策）

河川の氾濫から市民の生命と財産を守ることは、河川管理の基本です。

小千谷市における信濃川の河川改修事業については、現在、東小千谷地区で堤防改修工事が実施されていますが、平成21年度には事業が完了する見込みであり、これによって市街地の洪水対策工事は一段落いたします。

今後、周辺集落を対象とした洪水対策については、無堤防地区と言われる水辺集落として上片貝地区及び卯ノ木地区があります。

また、小千谷市は、信濃川河岸段丘と蛇行の顕著な地域であり、自然崖による河岸も多く、岩沢地区、時之島地区、細島地区、真皿地区など段丘地の住宅では、増水により河岸崩落の危険も心配されるところであり、護岸の補強対策が望まれています。

2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持（水利使用等）

河川水を水資源として利活用し、市民生活を豊かにするために役立てていくことは大切なことです。

信濃川は水質的にきれいな川であり、今後とも河川浄化に努めながら将来に引き継いでいきたいと思えます。

また、水利使用としては、上水道、工業用水道、発電用、農業用水、漁業等に広く利用されていますが、豪雪地帯である小千谷市では、流雪溝用水としても使用しています。

流雪溝用水は全量還元であり、取水による下流への影響がほとんどないため、今後、東小千谷地区において信濃川からの水利使用を計画していきたいと考えております。

3. 河川環境の整備と保全

河川敷を利用して、河川公園、運動公園、水辺空間を創出し、市民生活にうるおいとやすやぎの場を提供していくことも有効な整備方法です。

現在、小千谷市には、五辺の水辺があり、人と自然がふれあう空間を創り出しています。今後は、東小千谷地区や真人地区において、運動公園、河川公園などを整備し、河川空間の有効利用を目指していきたいと考えております。

整備後の管理については、地元と一体になって管理運営していくことが必要かと思えます。

津南町

基本方針では、上流部における「狭窄部の河道掘削にあたっては、指定区間も含めその下流部への影響を考慮し、治水安全度のバランスを図りながら、適切に実施していく。」としています。この記載のとおり、上流部の河道掘削等の整備が行われれば、下流に大きな影響を及ぼすことは必至であり、これまで以上に大きな災害が発生するのではないかと危惧しておりますので、基本方針どおり適切な対応を実施していただきたい。

適切な対応を実施するには、基本方針でも謳っておりますように「上下流のバランスを考慮した水系一貫した河川整備」が必要であります。そのためには飯山～中里間約40kmの県管理区間を直轄管理区間として整備すべきと考えておりますので、早期に直轄区間編入し整備計画に反映させていただきたく要望いたします。

## 信濃川水系河川整備計画の策定について

### 燕市要望（都市整備部土木課）

- ・地滑り地帯の抜本的対策
- ・スーパー堤防の築堤
- ・五千石樋管を機械排水へ（排水機場の設置）
- ・高水敷の利活用

以上、整備計画の策定にあたってお願いしたい。

## 「河川整備計画（骨子）」作成に向けた意見等

【新潟県十日町市】

- 当流域は、導水路式水力発電のための取水によって「本来川にあるべき水が無い」ことが、河川環境保全と親水に大きな影響をもたらしており、このことが流域住民を川から遠ざけていることをご理解いただき、この流域における流水の正常な機能維持について河川整備計画に反映願いたい。
  
- 流水の正常な機能が確保されることによって、この流域の水環境改善が行われると考えますので、まず極端な減水状況が解消され「新しい姿」になった時点を見据えた整備計画を策定願いたい。  
また、水環境保全のためにも、河川整備計画の中で継続した調査をお願いしたい。
  
- 当市流域では、国直轄区間と県管理区間が存在していますが、地元にとっては「一つの川」であります。  
よって、両区間で連携を図った整備計画を策定していただき、区間によって整備の隔たりがないようお願いしたい。

平成 20 年 11 月 19 日

■ 信濃川水系河川整備計画県・沿川市町村懇談会における長岡市の意見

治水、環境、利用（観光を含む）の面で、バランスのとれた河川整備をお願いしたい。

○ 良好な親水空間の創出

信濃川は、長岡市の中心部に広大な空間を持っており、この空間を、市民が信濃川に親しむ空間として整備をお願いしたい。

特に、長生橋付近から長岡大橋辺りまでの区間は、長岡まつり大花火大会の会場でもあり、8月2、3日には全国各地から80万人余りの人が花火見物に訪れる。この場所を、まつり以外の期間にも観光客から大河信濃川を訪れてもらえるような空間、市民が水に親しめる快適な空間として整備することは、長岡市にとっても信濃川にとっても大きなメリットがあると考えている。

河川区域内を手付かずの緑地として、保全することも大切であると思うが、メリハリをつけて、この区域については、人が快適に過ごせ川に親しめる空間として整備をお願いしたい。

○ 災害の発生防止または軽減

・ 堤防の整備

長岡市内には、計画高水流量に対して堤防の整備が十分でない暫定堤がかなりの延長存在している。早期の改修をお願いしたい。

（長岡市における暫定堤：左岸・・・蔵王橋上下流、長生橋上流  
右岸・・・西藏王地区上流）

・ 水衝部の対策

太田川合流点付近の水衝部で進んでいる洗掘の対策を早期に実施をお願いしたい。

・ 大河津分水路（第二床固を含む）の抜本的改修

信濃川中流部で最も洪水処理能力が小さく、第二床固工も老朽化が著しいため、抜本的な改修をお願いしたい。

# 信濃川水系河川整備計画策定の意見等について

南魚沼市

## 1. 川の駅構想について

南魚沼市では中心市街地から200メートルほど東側に位置する清流「魚野川」があり、この魚野川に架かる六日町大橋付近において官民協働の河川環境整備を行っています。これは社会資本の効果的な活用や地域コミュニケーションの拠点として整備することにより、来訪者はもとより地域住民が気軽に川に親しみ、ふれあいの場を創出することを目的としています。

また、地域の歴史や文化等を再発見する機会を提供する場として、昭和初期に荷役運搬に活躍した川舟「こうりんぼう」を復元し市民に親しまれています。この川舟を展示している「こうりんぼうの館」の前には「お六の湯」と名づけられた足湯もあり、休日にはお年寄りから若者・子供までが利用し市民の交流の場として利用されています。さらに、鮎のまるかじりや地酒を楽しむ「鮎まつり」や「兼続公まつり」なども毎年開催され多くの来訪者があります。このエリアを「川の駅」の拠点とし防災を含めた地域の交流拠点として整備を推進しております。

このようなことから国土交通省の管理区間においても地域住民が川に親しみながら「まちづくり活動」「コミュニティ形成活動」を推進する拠点としたいと考えます。については市街地に近い八海橋、九日町橋、多聞橋等の付近においても「川の駅」の拠点エリアを目指し船着場の復元や低水護岸の整備を推進していただきたい。

これらの事業により災害の防止や地域市町村が非常時の物流拠点としても利用が図られ、地域住民が安心して暮らせる環境がいつそう整備されるものと思われま

## 2. 魚野川・水無川ウォーキングロードと桜つつみ構想について

浦佐駅から東へ1キロほどのところには「医療・農業・遊び」をコンセプトとした奥只見レクリエーション都市公園「浦佐地域」が新潟県により開設されています。周辺には「ゆきぐに大和病院」、特別養護老人ホーム「八色園」などの施設があり、さらに救命救急施設「魚沼基幹病院」の設置も予定されています。これらの医療福祉施設と国際大学を始めとする北里保健衛生専門学校、国際情報高校、中学校、小学校などの教育機関も立地し住環境等が特に優れた地域であります。

これらの地域では、健常者はもとより福祉施設利用者の健康増進やリハビリなどへの活用を図る環境整備を行っております。(国道17号浦佐バイパスと都市公園内の「緑の回廊」、これらの施設と合わせ更に魚野川と水無川の堤防を周遊するウォーキングロードと桜を植栽した桜つつみを整備する構想です。

老人や障がい者等に優しいこれらの環境整備と一体となった河川整備を推進していただきたい。